

■■■■ 前回ふりかえりシートまとめ（12月3日分） ■■■■

1. 今日の議論でよかったこと

- 自分の住んでいる地域について、色々な問題・課題について改めて考えられてよかった。
- 地域の課題・問題点がはっきりしたこと。
- 地域の課題が絞られてきた感じがする。
- 曾野木地域の現在の公共施設の問題点が明確になった。
- 各世代の問題点が出され、前向きな意見交換ができた。
- 自分の所属している立場から考えて、今ある設備の利用と、これから必要なものについて、意見を述べたつもり。建物・施設だけでなく、ソフト面での充実（ルールや利用者）も大事だと思った。
- 各世代が利用しやすいものにしたいという地域の願いが、いよいよ実現できそうになってきたこと。
- 何となく、ワークショップの結論の方向性が見えたこと。
- 具体的にまとまってきたこと。
- 前回よりは、具体的な話ができたと思う。
- 曾野木地区のこれからの施設について、具体的な姿が見えてきた。
- 市営住宅跡地に建設する公共施設の話の方向性が出てきた。
- 多世代・多様な方と意見交換をしたり、知らなかった情報を知ることができた。
- 色々な方から、たくさんの意見が聞けたこと。
- 話し合うことは大事なのでよかった。
- 若い世代の要望が聞けてよかった。
- 叶う叶わないは別として、気軽に意見が言えたのでよかった。
- 参加者全員が、忌憚なく意見を発表できた。
- 活発な意見が出たこと。
- ある程度、言いたいことを言えたと思う。
- 言いたいことが言えたのでよかった。
- 本日の本題に入る前に、第1回についての内容の復習を、詳細にわかりやすく説明があったこと。
- 本日の成果イメージができる説明がよかった。
- 休日の午前で集まりやすかったが、時間が長い。
- ファシリテーターのまとめ方が素晴らしい。
- 話が脱線しても、ファシリテーターが上手く戻してくれて、話しやすかった。
- 地域の一体感になるよう、話を進めていること。

2. 内容について言い足りなかったこと

- 利用料について、施設を新しく作るにしても、今ある施設の維持・継続にしても、必要なものについては、ある程度出すのは必要なことだと思うので、利用料を取っていいと思う。（使う人が出すことは必要）
- 図書館の充実（曾野木小学校区・東曾野木小学校区の間際に図書館を建て、その中に学習室・談話室・喫茶室などを併設する）
- 子育て世代の委員が少ないように思う。
- 市営住宅跡地については、早くコミュニティセンターをつくってほしい。先延ばしにしないでほしい。
- 消防署跡地を、東曾野木ひまわりクラブに活用するのは不可能なのか。

- 財源が少ないので、要望事項も遠慮がちになる。
- 跡地利用を早く決定してほしい。
- 人口を増やすために農地を、という話も出たが、人口を増やすことも大切だが、今生活している人が充実して収入もしっかりあってということも大切では。農地を住宅にすることがいいのか。農家が多いので、農家が元気になれば、活気が出ると思う。
- 地域の活性化について、企業・専門学校などの設置を考える。地場・地産の施設の充実。
- 新しくつくる施設については、子どもから高齢者までが利用できる、複合的な施設を考えていくこと。
- グループで共通の地区内の問題点と要望が出たが、要望ありきの前に、住民の意識改革が先に立つ。旧村と団地との温度差がなくなる限り、曾野木は変わらないし変わらない。むしろ、年々温度差が増しているのではないかと思う。
- 既存の自治会をどのように存続し、維持運営していくのかの課題が優先。それくらいどこの自治会も足元が揺らいでいるのが現状。それに加え、とにかく人材不足。

3. 進め方について言いたいこと

(全体)

- 総論はみなさんの意識は合っていると思うが、各論になると意見が分かれるので、今後が心配である。早く最終対策案を。
- ワークショップの結論の方向性が具体的に見えない。結論はないと言われても、方向性を明示してもらわないと、ワークショップの終わりが見えない。単なる住民の意見の羅列に思う。次回は、「こういう結論を考えてほしい」内容を明らかにしてもらわないと、ワークショップは終わらないように思う。
- 取り組みの趣旨・全体の進め方・前回の報告の30分の時間が無駄な気がする。もっとわかりやすく端的に。
- 「今回の行政の意図すること」はわかりやすくよかった。
- 旧新潟市のベッドタウンとして50年の歴史を検証する必要があるのかもしれない。
- 新しい地域づくりとなる骨子を明確にしないと、張り子の曾野木で終わる。

(グループ討議)

- 第三者が入って進めているので、やりやすいと思う。
- ファシリテーターが東京や柏崎から来ていることに違和感。曾野木の地理や状況などがわからず（勉強しているのかもしれないが）、話をまとめられるのか。
- 話し合うことは必要。これでよいということもなかなかないと思うが、たくさん話し合っ

(参加者・開催日時など)

- 公共施設は子どもも使うので、小中高生あたりの意見も何らかの形で拾ってほしい。
- 他の専門的な団体など（子育て・青少年・老人介護・防災など）の意見を聞いてみたい。
- ワークショップの意見を、より多くの方々にお知らせするニュースなどをつくって配布（回覧でもよい）した方がいいし、同等に住民の意見を吸い上げたらいいと思う。
- 土曜日は出席しやすい。
- 土曜日の午前中の開催が良い。
- 後2回くらいの開催が望ましい。
- 次回で終了でいいと思う。意見はだいたい出されたと思うので、後はまとめて討議すればよい。
- 最長2時間が限度だと思う。